

## 密度試験実施基準

### (趣旨)

第1条 この基準は、相模原市道路占用規則(昭和54年相模原市規則第25号)に係る道路の占用若しくは掘削工事に関して、工事完成後の道路陥没等を防止するため、道路の埋め戻し及び締め固めの状態を判定する試験について必要な事項を定めるものとする。

### (適用)

第2条 この基準は、道路の掘削を伴う占用工事で、埋め戻し材料に砂、再生砕石砂を使用するものに適用する。

なお、埋め戻し材料に発生土、改良土を使用するものについては、貫入試験により検査を行うものとする。

### (用語の定義)

第3条 この基準において「路床」とは、路盤下1メートルまでの埋め戻しをした部分をいう。

2 この基準において「路体」とは、路床より下の埋め戻しをした部分をいう。

### (試験方法)

第4条 試験は、相模原市土木工事施工管理基準に準じ、砂置換法による土の密度試験(JIS A1214)を行うものとする。

### (試験場所)

第5条 試験場所は、特に指示がない場合は、路床及び路体の最上層の箇所を抽出するものとする。

### (試験回数及び判定基準)

第6条 試験は、別表1に定める回数を行い、別表2に定める基準を満たさなければならない。

### (結果報告)

第7条 試験の結果報告のため、次に掲げる書類等を提出するものとする。

- (1) 結果報告書
- (2) 再生路盤材試験成績表(最大乾燥密度が確認できるもの)
- (3) 写真(採取した湿潤土重量、測定器に砂を満たした重量、測定器と残った砂の重量が確認できるもの)
- (4) 前各号に掲げるもののほか、必要と認めるもの

附 則

この基準は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この基準は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この基準施行の前日までに許可した占用工事については、なお従前の例による。

別表 1 (第 6 条関係)

工事の種別	区 分	面 積 (1 申請につき)	回 数
開 削	路床及び路体	6 0 m <sup>2</sup> 未満	免 除
		6 0 m <sup>2</sup> 以上 1 0 0 m <sup>2</sup> 未満	1 回
		1 0 0 m <sup>2</sup> 以上 3 0 0 m <sup>2</sup> 未満	2 回
		3 0 0 m <sup>2</sup> 以上 4 0 0 m <sup>2</sup> 未満	3 回
		4 0 0 m <sup>2</sup> 以上	1 0 0 m <sup>2</sup> につき 1 回の割合
立 坑		2 5 m <sup>2</sup> 未満	1 回
		2 5 m <sup>2</sup> 以上	2 5 m <sup>2</sup> につき 1 回の割合

※ ただし、路体の試験は路体の厚さが 1 メートル以上ある場合のみ行う。

別表 2 (第 6 条関係)

区 分	基 準	備考
路床	最大乾燥密度の 9 5 % 以上	相模原市土木工事施工 管理基準に基づくもの とする。
路体	最大乾燥密度の 9 0 % 以上	

※ 試験孔の最小体積は、7 0 0 cm<sup>3</sup>とする。(JIS A1214 5.2.1)